



2020年6月18日

各 位

会社名 パ ス 株 式 会 社
(コード番号：3840 東証二部)
代表者名 代表取締役社長 堀主知ロバート
問合せ先 管理本部長 塚田 岳士
(TEL：03-6823-6664)

第9回新株予約権の資金用途変更に関するお知らせ

当社は、2016年3月11日付「第三者割当による第9回新株予約権の発行に関するお知らせ」にて開示いたしました資金用途につき、2018年3月26日付「第9回新株予約権の資金の用途変更に関するお知らせ」並びに2019年9月10日付「第9回新株予約権の資金用途変更に関するお知らせ」において資金用途の一部を変更いたしました。再度資金用途の一部を変更いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 変更の理由・経緯

当社は、グループ経営体制の更なる強化を図り、当社グループの収益力の拡大、企業価値の向上を図ることを目的に、2019年2月7日公表の「連結子会社株式の追加取得による完全子会社化に関するお知らせ」のとおり、化粧品の製造販売をしている株式会社マードゥレクス及び「TVショッピングを主とする美容・健康関連商品」を展開している株式会社ジヴァスタジオの株式を追加取得し、完全子会社化いたしました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による売上高の減少が見込まれることから、これまでの事業運営の見直しが不可欠となったことで、資金用途として掲げておりました「新規事業の構築」を含む投資計画を見直し、当面の既存事業の遂行に必要な運転資金に充当するものとしたします。

これに伴い、2019年9月10日付「第9回新株予約権の資金用途変更に関するお知らせ」にて公表した「既存事業及びコミュニティサービス事業の運転資金」の資金用途の金額を200百万円から229百万円に変更することになりました。

「新規事業の構築」の資金用途の金額の変更に伴い、295百万円から266百万円に変更しております。これにより「新規事業の構築」の資金用途が29百万円減少しております。

2. 資金用途の内容

資金用途の変更内容は、下記のとおりです。なお、変更箇所は下線で示しております。

調達する資金の具体的な用途

【変更前】

具体的な使途	金額	支出予定時期
i-1 WEBメディアへの投資・運転資金	—	—
i-2 上記i-1に係る運転資金	—	—
ii 旅行業の第1種旅行業登録及び運営費用	40百万円	2016年4月～2016年6月 (40百万円充当済み)
iii-1 通信販売業のWEB強化、海外展開資金	250百万円	2016年7月～2020年3月 (うち150百万円充当済み)
iii-2 通信販売業の設備投資	70百万円	2016年4月～2016年7月 (70百万円充当済み)
iii-3 化粧品等の商材拡充	647百万円	2018年4月～2020年3月 (647百万円充当済み)
iii-4 新規事業の構築	<u>295百万円</u>	2018年4月～2020年3月 (<u>236百万円充当済み</u>)
iv コミュニティサービス事業の海外展開	—	—
v 既存事業及びコミュニティサービス事業の運転資金	<u>200百万円</u>	2016年4月～2017年10月 (200百万円充当済み)
合計	1,502百万円	(うち1,343百万円充当済み)

【変更後】

具体的な使途	金額	支出予定時期
i-1 WEBメディアへの投資・運転資金	—	—
i-2 上記i-1に係る運転資金	—	—
ii 旅行業の第1種旅行業登録及び運営費用	40百万円	2016年4月～2016年6月 (40百万円充当済み)
iii-1 通信販売業のWEB強化、海外展開資金	250百万円	2016年7月～2020年3月 (うち250百万円充当済み)
iii-2 通信販売業の設備投資	70百万円	2016年4月～2016年7月 (70百万円充当済み)
iii-3 化粧品等の商材拡充	647百万円	2018年4月～2020年3月 (647百万円充当済み)
iii-4 新規事業の構築	<u>266百万円</u>	2018年4月～2020年3月 (<u>266百万円充当済み</u>)
iv コミュニティサービス事業の海外展開	—	—
v 既存事業及びコミュニティサービス事業の運転資金	<u>229百万円</u>	2016年4月～2020年9月 (<u>229百万円充当予定</u>)
合計	1,502百万円	(うち1,502百万円充当予定)

3. 今後の見通し

当社の連結損益に与える影響は現在精査中であり、「業績予想の修正等」につきましては判明次第、速やかに開示いたします。

以上